

# 友松会だより

平成 28 年度 友松会総会報告号

発行責任者 会長 芦川 弘

平成 28 年 7 月 5 日 発行

## 平成 28 年度 友松会総会報告

会場 セントラルホテル横須賀

平成 28 年 6 月 25 日 (土曜日)

### 総会次第

#### 第 1 部 総会

開会のことば 国歌斉唱

物故会員への黙祷 会長挨拶

来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露

会務報告 卒寿会員への記念品贈呈

松沢研究奨励賞贈呈



退任役員等への感謝状贈呈

次期開催ブロックあいさつ 閉会のことば

#### 第 2 部 講演会

「真田三代とその時代」

講師 鎌倉考古学研究所 伊藤一美氏

#### 第 3 部 懇親会

開会のことば 実行委員長あいさつ

来賓祝辞 乾杯 歓談

新会員紹介 歓迎のことば

校歌・学生歌斉唱 万歳三唱

閉会のことば

## 芦川 弘 会長挨拶 (要旨)

友松会総会の横須賀市開催を喜び、半島地区の皆様のご尽力に感謝いたします。



友松会は、本年度で 128 年を数えます。その間、5 万人

横浜国立大学学長長谷部勇一様をはじめ、多数の来賓のご臨席を賜り、盛大に開催できますことにお礼申し上げます。

にも及ぶ卒業生を輩出し、そのほとんどは教育界に進み、県下はもとより全国各地で活躍してまいりました。近年は、多様な人材が育成され、卒業生も多岐の方面にわたっております。平成 29 年度には教育学部に改編され、学部は大きな変革期を迎えます。

校友会が設立され、同窓会は、新 1 年生を対象に学生会員の募集を始めました。

友松会は、大学の現況を理解し、望ましい活動を展開していかなければなりません。そのために、基本姿勢として、「深まろう 高まろう つながる会員 つながる大学」をスローガンに掲げました。本年度は、その具体的行動として、会員同士の連携、大学との連携をねらいに「行動する友松会」を目標としました。

目標実現のためには、「支部活動の活性化を図る」こと、「会費納入会員の増強に取り組む」こと、「大学との連携を強化する」ことです。

新入生も入会に積極的です。学生会員のために、就職支援、各種講座開催への支援など、会員の皆様の支援を大いに期待しています。

来る 10 月の YNU ホームカミングデーには、友松会は、「豊かな教育を語る会」を開催し、第一部で松沢研究奨励賞受賞者の研究発表、第二部は、大学との共同企画として大学の先生・学生・卒業生・保護者代表によるパネルディスカッションを計画しています。

本日は、松沢研究奨励賞の受賞者、卒寿を迎えられた方にもご出席をいただいております。

最後になりましたが、会員皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご出席の方々に感謝申し上げます、挨拶といたします。

## 来賓祝辞 横浜国立大学学長長谷部勇一様



「県とは高校・大学の接続のあり方について、政令指定都市 3 市とは地域連携について話合いをしたが、本学出身の教員、本学の教員養成課程への非常に高い評価と今後の期待を実感した。

各附属学校における教員交流や次年度から始まる教職大学院への連携など、地元教育界との信頼関係が大事だと思う。これからも、同窓会、校友会との連携が大切だと考えるので、大学への支援をお願いしたい。」と話され、友松会の発展を願って挨拶とされました。

横須賀市教育長青木克明様は、横須賀市立学校、教育施設の紹介と友松会への期待を話されました。ご自身が友松会会員であると披露され、総会の成功と友松会の発展、会員の健康と活躍を願って祝辞とされました。

## 卒寿を迎えられた会員への記念品贈呈



代表  
横須賀支部 富山 誠次 様

## 松沢研究奨励賞贈呈

### 【受賞者】

横須賀市立大楠小学校 岩澤 進 総括教諭  
厚木市立荻野中学校 尾崎 誠 教諭



### 講演

「真田三代とその時代」

講師 鎌倉考古学研究所 理事 伊藤 一美 氏

NHK テレビ放映中の大河ドラマ「真田丸」と関連付けながら、真田家の古文書について講演されました。

元藤沢市立小学校長。(講演の要旨) 真田家には膨大な資料が残されており、なぜ敵味方に分かれて行ったのかなど様々なことが考えられます。

初期の文書では、「卑怯者」とあり、字では「比興」と書きますが、安心できない奴という意味です。慶長五年の「犬伏の別れ」では、父昌幸が嫡男信之と次男信繁を呼び出し、東西いずれに付くか相談したと言われていますが、私は、予め決まっていたと思います。西方の石田家から、その前後に様々な手紙が出されていることがわかったからです。真田家は、東西から期待されている家でした。家を残すことは、一族を残すことです。生き残るためには、武力だけでなく、教育、知恵が大切であり、手紙から家としての繁栄が見えてきます。



## = 懇 親 会 =

功刀実行委員長よりあいさつ。来賓祝辞は、横浜国立大学教育人間科学部 杉山久仁子様ほか、校友会、富丘会、名教自然会の各代表。顧問の金子様の御発声で乾杯後、歓談。新会員紹介と歓迎のことば。校歌・学生歌斉唱。顧問の織茂様の音頭による万歳三唱で閉会。多数の来賓に出席いただき、卒寿を迎えた会員から新任の若い会員まで、和やかな雰囲気での歓談されている様子が印象的でした。次期開催地は、湘南ブロックの茅ヶ崎市です。



杉山学部長祝辞



新会員紹介



懇親会会場の様子



師範学校校歌斉唱